

令和元年 5 月 25 日
学校法人柏樹式胤学園

平成 30 年度事業報告書

【1】法人の概要

(1) 日本文化大學の建学の精神

知性豊かな学風として、日本本来の美しい道徳的伝統と、その優れた叡智とに基づき建学精神によって、次代を背負う優秀な人材を育成する。その知性と情誼の厚い建学精神を、さらに重点要約すると、次の四条目となる。

恩愛禮義 父母の慈愛や、人々のまごころの恩を暖かく感受して、情誼に篤く禮と義とを尊ぶ。

清明和敬 清く明るく、爽やかな心を養い、人倫の和を尊び、自他には敬の心によって接する。

重厚中正 重みと厚みのある学問と人柄を修め、正しい道を明らかにして、言行一致する。

祖風継承 わが国の祖先からの美しい文化伝統を学問的に受け継いで、さらに発展をはかる。

(2) 日本文化大學の教育理念……学問の本質的探求と自覚的認識

① 恩愛禮義・美風継承

本学の建学精神のもとに、わが先哲の学問を仰いで日本文化の叡智と美風を受け、これを成す恩愛禮義・清明和敬・重厚中正・祖風継承の学問を深め、美風を大切に身近な父祖の恩愛を感受して祖先を尊敬し、自らも直接これを承けて、品格と教養を高く、情誼豊かな人材を育成する。

② 文化学と経・史・文

近代西欧においても、本来の東洋においてと同様に、大臣、為政者、行政官、各界指導者、奉職者のすべてに必須の教養として、経（哲学・倫理学）・史・文（古典）の学問は、資格の第一条件として重んじられてきた。ところが、近代のわが国では、これらの職に従う者の、この教養の欠乏からくる諸欠点が指摘されて、年すでに久しいことである。

本学は、この欠点に陥らないために、各々の知識・学術を学ぶとともに、国典及び経・史にわたる文化を重視する。従って、ここに基礎をおく関係学の履修を重んじ、教科編成や履修課程をも考慮し、きめ細かい演習制度によっても、この重要な根底に力を注ぐ。

③ 学問の深奥を探求

本学は、学の源泉と、在るべき法の本質とを、しっかりとつかみ、一般の表面現象に惑わず、学問の深奥探求に留意し、学問を重んじ、しかも深く考えることを教育の要点とする。それゆえ実務界の要望に応じて、各種の国家及び実務試験に対する準備に当たっても、極端に走って学問の叡智を失い倫理を忘れて、法文の文言解釈万能に陥らないよう、特に留意する。

④ 次代を担う指導者の育成

学問によって己を充実し、向上させようと願う本学の教育は、己と同時に存在する「人」に対して、自他に敬、日々に省み、まごころを尽くして自らを豊かにする。それらは、人としての道を尊び目先の欲望や名利の衝動により終始する動物存在には陥らず、人としてつねに反省し、叡智による情誼を重んじ、正道を歩む真の勇氣を体得する。たとえ冷酷な功利の波濤が侵すことあろうと、重厚な情誼と真勇とによって中正の道を歩む。

⑤ 法学・政治学と将来の進路

人々は、すべて、いつ、いずこにあらうと、法と政治のうちにある。今近くの道路を横断しようとも、将来海外勤務に従事しようとも、食糧を生産し、これを集散・運送に当たっても、これらすべて現実の生活、実務、産業行動はすべて政治と法とに係り合っている。故に、現実の全領域や国家の各分野において、その成果を日々に身近に期待されている学問こそ実に法学・政治学である。

こうして現在の法政・経営・外事などの実務各界では、これらわが国現代の特異な事情を理解し、識別した上で、父祖以来の文化の叡智と成果を受け継ぎ、将来にわたって永続する調和と協力の道を求めようとする優れた自覚ある人材を要望されている。

この要望に応えるものは、学問教養によって、誠実な感受性にあつく、恩愛和敬の心豊かに人柄爽やかな本文に立っては、熱意と気魄のある若人である。本学法学部は、明日の日本を安泰に守り導こうと願う若人が法学部を志望して正しい経国知世の学問を求め、建学の精神と使命のもとに、わが叡智と美風の道を探求する。また本学生は、このような先哲の純正な学問に、感銘を覚え、次代へ実現の大切さを自覚し将来の使命に誇りとアンビションとを勉強している。

(3) 学校法人の沿革

昭和 52 年 12 月 学校法人柏樹式胤学園への組織変更認可

昭和 52 年 12 月 日本文化大學設置認可

昭和 53 年 4 月 日本文化大學法学部開学

(昭和 51 年 3 月本学 1 号館、2 号館竣工)

昭和 55 年 2 月 2 号館増築

昭和 54 年 4 月 剣道場、弓道場新築
 昭和 57 年 5 月 3 号館「図書館棟」竣工
 昭和 60 年 3 月 高田馬場学習センター新築
 昭和 60 年 12 月 食堂棟、庭園完成
 昭和 63 年 1 月 体育館竣工
 平成 4 年 12 月 4 号館、AV ホール竣工
 平成 6 年 1 月 5 号館「柏樹記念館」、蜷川会館「学生食堂」新弓道場竣工
 平成 12 年 10 月 八王子市小比企町に総合グラウンド完成
 平成 14 年 4 月 サークルスクエア完成
 平成 19 年 4 月 2 号館に法学研究室、テイクラウンジ、パウダールームの設置
 平成 19 年 4 月 柔道場設置
 平成 20 年 4 月 2 号館に裁判員制度対応の模擬法廷及びコミュニティールーム設置
 平成 22 年 6 月 サークルスクエア「新体育館」竣工
 平成 23 年 3 月 日本高等教育評価機構（JIHEE）による平成 22 年度大学機関別認証評価を受審のうえ、適合の認定を受ける。（認定期間は平成 22 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）
 平成 23 年 4 月 第 2 柔道場設置
 平成 23 年 5 月 メディアセンター（図書館・学生支援室・PC ルーム）竣工
 平成 25 年 9 月 4 号館及び AV ホール空調設備改修（国土交通省の省エネ改修推進事業補助金利用）
 平成 26 年 10 月 新遊歩道「和敬の道」完成
 平成 27 年 4 月 シンボルマーク・校名ロゴの策定
 平成 28 年 4 月 グラウンド整備、人工芝・LED 証明完成
 平成 29 年 1 月 新柔道場「立志館」竣工
 平成 29 年 3 月 日本高等教育評価機構（JIHEE）による平成 28 年度大学機関別認証評価を受審のうえ、適合の認定を受ける。
 平成 29 年 8 月 総合新校舎「楽工舎」竣工
 平成 31 年 3 月 学生広場整備・人工芝完成

(4) 設置する学校・学部・学科等

設置する学校	開校年月	学部・学科等	摘 要
日本文化大学	昭和 53 年 4 月	法学部・法学科	

(5) 学校・学部・学科等の学生の状況

(平成 30 年 5 月 1 日現在) (単位：人)

学 校 名	入学定員数	収容定員数	現員数	摘 要
日本文化大学 法学部	200	800	801	

(6) 役員の概要

(平成 30 年 5 月 1 日現在)

定員数 理事 5 人、監事 2 人

区 分	氏 名	常勤・非常勤の別	摘 要
理事長	蛭川 てる子	常 勤	平成 28 年 4 月理事重任 平成 28 年 4 月理事長重任
理 事	他 4 名	常 勤	
監 事	浅見 孝良	非常勤	平成 28 年 4 月監事重任
監 事	藤田 隆司	非常勤	平成 28 年 4 月監事重任

以上欠員なし

(7) 評議員の概要

(平成 30 年 5 月 1 日現在)

定員数 11 人

氏 名	在任年月	主な現職等
遠藤 豊孝	2 年 1 か月	日本文化大學学長
他 10 名		

以上欠員なし

(8) 教職員の概要

(平成 29 年 5 月 1 日現在) (単位：人)

区分	本部／日本文化大學		計
教員	本務	28	28
	兼務	20	20
職員	12		12

【2】教育課程

(1) 事業の概要

少子化等の影響により、当学校法人を含め私立学校をめぐる経営環境は大変厳しい状況にある。そこで、多様化する大学に対するニーズ（需要）に応じた特色ある教育を実施するため、当年度においては次の事業に力を注いだ。

- ①教育環境の充実
- ②学生の就職活動などの学生支援
- ③その他 教育・研究活動の促進

(2) 主な事業の目的・計画及びその進捗状況

- ア) 楽工舎のロールスクリーンの設置

プロジェクターを活用した講義が多くなってきたこと、強い日差しからの遮光・遮熱の観点からロールスクリーンを楽工舎のすべての教室に設置した。

イ) ポケット Wi-Fi の契約 (2 回線)

学内の Wi-Fi 環境を整備してきたが、サークルスクエア (体育館)、立志館 (柔道場)、五常館 (剣道場)、4 号館 AV ホールは未整備である。よって、これら未整備の場所や教職員の出張時に使用する目的でポケット Wi-Fi の契約をした。

②学生の就職活動などの学生支援

ア) 就職試験対策として実施している「教養科目模擬試験」(以下、「教養模試」とする。について、事前講義・「教養模試」ともに1年次・2年次については前・後期各2回・年間4回実施し、それらへの出席を「基礎ゼミ」の単位修得の一条件とした。

3年次は、共に前期1回、後期2回の年間3回実施し、それらへの出席を「就職情報概論」の単位修得の一条件とした。

なお、主に3・4年次を対象とした「過去問実戦ゼミ」を(夏期・春期休業中)実施した。

イ) 3年次を対象に「就職活動壮行式」(平成30年10月14日(日))を実施した。

「公務員採用説明会」は、八王子市役所をお願いした。

「企業説明会」に参加した企業は、住友不動産販売(株)、サミット(株)、東京急行電鉄(株)、明治安田生命保険相互会社の4社。

ウ) (株) 学研アソシエとの提携による就職模試の実施

対 象	前 期	後 期
2年次		クレペリン検査
3年次	SPI3・就職能力試験	エントリー試験

エ) 「キャリアマネジメント」の実施

年次	講座名	講座運営	備考
2年次	キャリアマネジメントⅡ	LEC	2クラス編制
3年次	キャリアマネジメントⅢ		
	①警察消防コース	LEC	1クラス編制
	②地上・国家一般コース	LEC	1クラス編制
	③市役所コース	TAC	1クラス編制

オ) その他の就職支援講座の実施

講座名	講座運営	備考
ファイナンシャル・プランニング講座	LEC	30コマ、半期、1クラス編制
サバイバルゼミ（警察コース）	LEC	1コマ1.5時間、48コマ
サバイバルゼミ（市役所・消防コース）	LEC	1コマ1.5時間、56コマ
サバイバルゼミ（地上・国家一般コース）	LEC	1コマ1.5時間、64コマ Web講義、47コマ
サバイバルゼミ（基礎コース）	LEC	1コマ1.5時間、10コマ
過去問実戦ゼミ	学生支援室	1コマ3時間、全5日
公務員試験 最終答練勉強会	学生支援室	1コマ3時間、全6日

カ) 3年次選択科目の「インターンシップ」について、実習を終了して単位を認定した者は14名であった。内訳は、学内SAが6名（いずれもスポーツ健康科学を担当）、行政機関等が8名であった。

③その他 教育・研究活動の推進

ア) 1年次必修科目「キャリアマネジメントⅠ」について、講義の充実を図るため、NPO法人 TOSS (Teachers' Organization of Skill Sharing) と連携し、本学オリジナル教科書を作成した。

	教科書名
1	キャリアマネジメントⅠ ① [数的処理]
2	キャリアマネジメントⅠ ② [図形] / ③ [資料解釈]
3	キャリアマネジメントⅠ ④ [判断推理]

イ) 「新入生オリエンテーション in 河口湖」を平成30年4月5日（木）・6日（金）の1泊2日で行い、山梨県立美術館や忍野八海を見学すると共に、ガイド等富士ビューホテルにて実施した。参加学生271名、引率在学生12名、引率教職員14名の体制で行った。

ウ) 「文化学総合演習」を平成30年9月19日（水）・20日（木）の1泊2日で行い、筑波グランドホテルに宿泊して、弘道館をはじめ偕楽園・好文亭、常磐神社、関城址・小田城址などを見学した。参加学生123名、引率教職員8名の体制で行った。

エ) FD活動の一環として「授業実態調査」を前期末及び後期末に実施した。実施結果については、各教員に対してその所見を提出させた。

オ) キャリア支援教育の充実を目指し、夏期休業中には、「宅建夏期講座」、「キャリアマネジメントⅠ補習講座」、「公務員試験過去問実戦ゼミ」を、春期休業中に「公務員試験対策講座」「簿記特講」を開講した。

カ) 八王子学園都市大学への講座提供

- 1) 7月22日(日)午前・午後、「夏休み 子どもいちょう塾 『君も裁判員に挑戦しよう!』」(轉法輪慎治教授)を実施し、小学生の受講者20名が参加した。
- 2) 10月27日(土)に「公開講座 模擬裁判」を実施し、18名が参加した。

キ) 『日本文化大學 教職研究』の発刊

特に、教職課程教育の研究促進を目的として『日本文化大學 教職研究』を創刊した。今後、定期刊行物として発行していく予定である。

ク) 「憲法学会」の開催

10月20日(土)に「憲法学会第120回総会並びに研究集会」が楽工舎ホールにて開催された。

④ 学生募集と就職状況

イ) 学生募集

本学の2019年4月の入学者数は昨年度に引き続き、定員を大幅に上回ることができた。文科省の定員厳格化政策により大規模大学が合格者数を減らしたことや2020年の入試改革をにらみ受験生が浪人を避ける傾向にあることなどが昨年同様に影響していると思われる。今年度もこうした傾向は続くと思われるが、それ以降は18歳人口の一層の減少および新テストの導入に伴う影響が確実に出てくることが予想されるため、今からこれに備え対策を講じておく必要がある。

本学のアピール・ポイントである「公務員(特に、警察官)就職率」の高さや、少人数制によるきめの細かい教育、初年度からの徹底したキャリア支援などは、引き続き維持・充実させると共に、これを広く浸透させるために、教職員による高校訪問を効率的に行い高校の先生方の認知度を上げ、また、インターネットを利用した効果的な宣伝広告活動も実施した。

本学の就職率の高さ(特に、警察官就職率)は、依然としてマスコミにも注目されており、2019年度も週刊東洋経済(2018年5月23日号)、プレジデント Family(2019年3月28日発行)などで取り上げられた。

ロ)就職状況

平成31年3月卒業生の公務員採用試験の最終合格結果は、次のとおりである。

警察官合格者75名(うち女性7名)

(警視庁34名、神奈川県警察16名、千葉県警察6名、埼玉県警察5名、群馬県警察4名、北海道警察3名、福島県警察2名、静岡県警察・宮城県警察・広島県警察・愛媛県警察・沖縄県警察各1名)

消防官1名(東京消防庁)

県庁職員1名(広島県庁)

市役所職員3名(横浜市役所、相模原市役所、西東京市役所)

自衛官8名(一般曹候補生、自衛官候補生)

上記のとおり、公務員試験の合格者は、88名(うち女性8名)であり、警察官の合格者は、昨年を大きく上回り、警察官採用試験に強いという本学の特色を示す実績を残すことができた。

これは、採用試験対策として、1年次から、数的処理、教養問題や漢字などの基礎教育を徹底し、2年次、3年次にかけて、各講義においても、応用力や論述能力を高めるための教育を進めるなど、本学を上げて、公務員採用試験対策に取り組んだ結果であると考えられる。

民間企業においても、明治安田生命相互保険、第一生命保険、朝日生命保険、住友生命保険、保険の窓口グループ、東海東京フィナンシャル・ホールディングス、都留信用組合、日本郵便、住友不動産販売、ウスイホーム、相鉄企業、キッコーマン、日本瓦斯、三和、大塚商会、パーソナルキャリア、ヨドバシカメラ、セコム、キッコーマン、総合警備保障、セントラル警備保障、神奈川スバル、テイクス、新潟ヤナセ、野口倉庫、UTグループ、木下の介護、ビッグモーター(BIG MOTOR)、コスモネット、トープラ、IDOMなどの優良企業に内定を得て、高い就職率の維持につながった。

今後も、企業を志望する学生については、各講座において、プレゼンテーション能力などの就職活動に必要な知識、能力を身に付けさせるとともに、実社会に出たときに活躍するための能力(社会人基礎力)の向上に努めていく必要がある。

⑤教育施設・設備の整備と拡充

平成30年度は、平成19年度以降実施しているキャンパス整備計画の第3次計画(平成27~30年度)の最終年度に当たり、次の計画を実施し、教育・設備の整備と拡充を概ね予定通り完了した。

ア) 新2号館建築工事(2階建、延床面積3,011㎡) 一式 1,466百万円

予定通り建築が進捗し、令和元年10月に竣工予定である。

イ)新2号館建築に付帯する工事及び設備等の進捗状況は、次の通りである。

- ・弱電設備工事（無線 LAN 構築、PBX 構築、監視カメラ構築、AV 構築等）
一式 45.4 百万円

すでに発注済みで、建物完了までにすべて据え付けを終了する。

- ・トレーニング機器 一式 65 百万円

上記弱電設備と同様である。

- ・什器類（机、椅子等） 一式 35 百万円

本年 6 月に発注し、9 月末納品予定である。

- ・ボルトリング工事 一式 8 百万円

本年 5 月に発注し、9 月末工事完了予定である。

- ウ) 正門フェンス改修工事 一式 94 百万円

- エ) フェンス追加工事、南門側（196.6m）、小比企総合グラウンド（178.2m）
一式 42.9 百万円

上記ウ) とエ) をもって懸案であったフェンスの改修工事は完了した。

- オ) 学生広場の人工芝張り替え工事 一式 29.7 百万円

多くの学生たちの要望に応え実施した。学生たちがこの広場を利用し、学生生活をエンジョイすることを期待している。

- カ) 現有施設設備の所在地等の説明

主な施設設備の状況は次のとおりである。

所在地	施設等	面積等(m ²)	摘要
八王子市片倉町	校地	72,470	八王子キャンパス
	校舎 11 棟	19,857	
八王子市小比企町	校地	20,067	総合グラウンド
東京都新宿区	校地	122	高田馬場学習センター
	校舎 1 棟	332	

⑥社会貢献

- ア) 「大学コンソーシアム八王子」の事業参加

八王子市および近郊の 25 大学・短大・高専で構成している「大学コンソーシアム八王子」の事業に、次の部会・ワーキンググループへの参加を通じ、積極的に関与した。

- i. 大学等連携部会、八王子市学園都市大学運営委員会 佐藤教授
- ii. 産学公連携部会 團上専任講師
- iii. 小中高大連携ワーキンググループ活動の一環として、7 月 22 日（日）に小学校高学年を対象とした「子供いちょう塾」に参加した。本学からは、「君も裁判員に挑戦しよう！」（転法輪教授および本学学生 6 名）と題して、午前、午後の 2 回にわたり特別講座を開き、合計 20 名の小学生が楽しくかつ熱心に受講した。

- イ) 公開講座「模擬裁判」の実施

平成 20 年度より実施している八王子学園都市大学「いちょう塾」講座として、今年度も昨年に引き続いて楽工舎模擬法廷教室において、10 月 27 日（日）に公開講座「模擬裁判」を 14：00～16：00 の時間帯で実施した。本講座では、八王子市民 4 名が裁判員役を演じ、好評を博した。なお、参加者は傍聴者（八王子市民）を含め 40 名余り。

【3】財務の概要

（1）決算の概要

当年度の教育活動収入合計は、10 億 504 万円（前期 8 億 6,985 万円、前期比 116%）で、一方、教育活動支出は、12 億 4,646 万円（前期 9 億 1,380 万円、前期比 136%）となり、収支差額では 2 億 4,141 万円（前期 4,394 万円、前期比 549%）の支出超過となった。

支出超過となった主な要因は、当年度に実施した旧 2 号館及び正門等の取壊し費用 2 億 5,116 万円が発生したこと、及び報酬・委託・手数料等が、楽工舎に係る保守料、清掃代等の増加により予算よりも 1,738 万円増加したことなどによる。

教育活動外収入としては、受取利息 181 万円（前期 221 万円、前期比 82%）を計上した。

特別支出は、上記の旧 2 号館の取壊しに伴う建物等の除却損 2 億 6,460 万円（前期 239 万円）が発生した。

基本金組入額は、1 億 3,879 万円（前期 9 億 9,537 万円、前期比 14%）である。主なる内容は、建設仮勘定に計上された新 2 号館に係る建設費用である。

これらの結果、当年度の収支差額は 6 億 4,299 万円（前期 10 億 3,950 万円、前期比 62%）の支出超過となった。これは、前年度からの繰越金で充当するので、特に問題はない。

（金額 1 万円未満は切捨で記載）

（2）その他

- | | |
|--------------|------|
| ① 経年比較 | 省略 |
| ② 貸借対照表 | 別紙参照 |
| ③ 収支計算書 | 別紙参照 |
| イ) 資金収支計算書 | |
| ロ) 事業活動収支計算書 | |

（3）主な財務比率比較 省略

なお、有価証券、借入金、学校債、寄付金、補助金、収益事業及び関連当事者などとの取引等は、一切ありません。

以上のとおり、当年度の本法人の決算内容には全く問題がなく、健全な財務内容となっている。

以上

学校法人柏樹式胤学園 役員等名簿

理事（定員5人）

理事長 蜷川 親輝
理事 遠藤 豊孝
理事 吉村 順正
理事 蜷川 てる子
理事 山田 徹

監事（定員2人）

監事 吉田 勝信
監事 藤田 隆司

評議員（定員11人）

評議員 遠藤 豊孝
評議員 嘉村 孝
評議員 蜷川 親輝
評議員 杉山 保士
評議員 蜷川 てる子
評議員 吉村 順正
評議員 野口 眞幸
評議員 佐野 優子
評議員 山田 徹
評議員 大村 郁夫
評議員 坂下 茂樹